

JSSA研究大会2020.11.6.

# 情報セキュリティ合同研究会メンバー募集と 研究テーマ事例

「Information Security joint Study Group Members Wanted  
& Research theme sample

2020年11月6日

情報セキュリティ合同研究会

# 2019-2020年情報セキュリティ合同研究会

## メンバー募集と研究テーマ事例

### 【近年のテーマ事例】

2018年 システム監査における情報セキュリティ監査の位置づけ

2019年 1人情報シスとガバナンス(新メンバー2名加入)

..

現在のテーマ候補(新メンバー2名加入)、新テーマも歓迎

- ・AIとシステム監査
- ・サイバーフィジカルセキュリティフレームワーク
- ・バイタルBCP: 安否確認システムと事業継続システムの連携

# 1. バイタルBCPの問題意識(1)

## ■近年の自然災害の多発

- ・2019年台風15号千葉県を中心に甚大な被害  
(電柱2000本超の倒壊、十分でなかった状況把握)
- ・2019年台風19号千曲川氾濫(翌日・翌々日になっての被害と確認)

(事例1)・社員が避難勧告に従い避難2019年10月12～13日

- ・10月14日(月)出社できない旨連絡、会社は14日に状況把握  
(事業継続上、重大なインシデントにはならなかった)

(事例2)・埼玉県付近に荒川のA工場 都内在住工場グループ長7名

- ・大雨特別警報発動、警戒水域を超えた荒川
- ・グループ長→部下社員へ連絡(社宅床上浸水の状況)  
(突然緊急事態が発生、判断を迫られる状況:生命の安全とBCP)

(事例3)・難しい社員からの情報収集:個人携帯電話番号提供拒否2名

## 1. バイタルBCPの問題意識(2)

### ■近年の自然災害の多発

(事例4)・東日本大震災で社員2名が犠牲のメーカB社

- ・社員と社員の家族の命を守る全社ポリシー
- ・海外を含めた全社展開へ
- ・事務局15分で立上げ:情報管理&緊急対応センター(訓練)
- ・双方向**安否確認システム**、社員からの複数手段の連絡と最新情報把握

(事例5)その他ヒアリングから

- ・非正規社員が**安否確認システム**の対象でない(自治体):機能しない事務局
- ・派遣社員、常駐請負者が**安否確認システム**対象外(企業)
- ・自然災害等緊急事態発生:24時間365日勤務体制業務下では継続勤務へ  
(**家族の安否?の状況で事業継続のための業務遂行は難しい**)
- ・多い局所的災害:求められる事業継続BCP
- ・複合災害のリスク(地震と台風・ゲリラ豪雨等)

## 2. 安否確認システムの問題意識(1)

### ■ 自然災害対応の安否確認システム

〈多い安否確認システム〉……ビット列初期値0001

- ・あなた大丈夫ですか。
- ・家族大丈夫ですか。
- ・家は大丈夫ですか。
- ・会社に来れますか。

### ■ 問題意識

- ・24時間365日:8760時間、勤務時間2000時間(時間外発生が一般的)
- ・対象範囲:社員・派遣社員・パート・アルバイト、家族
- ・現状と実態把握の遅れ:自宅、通勤中、会社、出張中、外出中～  
(機能はあっても運用されていない状況は多い)
- ・自治体等との連携:避難勧告、特別警戒警報～
- ・連携不十分な事業継続との関係:代替要員

## 2. 安否確認システムの問題意識(2)

### ■コロナ感染対応の安否確認システム

#### ＜安否確認システム＞

- ・濃厚接触者の概念、同居家族(幼稚園学級閉鎖)
- ・糖尿病等慢性疾患、高齢者、妊娠者等情報(感染時重篤症状リスク)
- ・継続的情報としての経過観察

#### (事例:事業継続を想定した対応)

- ・体温・健康状態を家族も含め報告させるケース。
- ・家族も含めPCR検査受診を報告させるケース:緊急事態として位置付け対応(24時間365日サービス提供が必要なケース等)

### ■問題意識

- ・災害型安否確認システムと連携していない:個々に存在するケースも多い
- ・感染者が出た場合:保健所の指示に従うとするケース(受動的対応)

## 3. 安否確認システムと事業継続

### ■コロナ感染対応の安否確認システム

#### ■安否確認システムモデル

No	氏名	年齢	疾患	体温	検査	病名	渡航	入院	住所	形態	経路	家族
	66		糖尿	37.5	陰性	肺炎	有					

<濃厚接触者テーブル: 家族/職場/経路、クラスター情報等>

<在宅勤務テーブル: IT関連機器、利用形態、通信状況、業務利用、システム・記録>

<事業連携テーブル: 所属、事業所、バイタル人材、バイタル業務、代替可能等>

<個人管理テーブル: 社員、所属、業務、職位、経歴、資格、住所・家族、在宅勤務等>

<医療情報テーブル: 属性、地域、医療機関、検査状況等>

<レポートテーブル: 分類、集計、管理、状況、社内・社外レポート等>

#### ■問題意識

- ・複合災害の想定要: 自然災害と感染症等リスク(避難所定員オーバ・不足)
- ・事業継続以前に生命の安全と2次災害の防止

## 4. バイタルBCP構築に向けて

### ■ 基本的な考え方

情報収集 → 対策策定 → 意思決定 → 現場指示 → 説明責任  
(所管部署?) (企画・管理) (経営トップ) (現場) (広報)

### ■ ポイント

- ・現状把握と意思決定のための情報収集・提供……**正確な情報の共有化**
- ・安否確認と事業継続を連携した情報システム(バイタルBCP)
- ・生命の安全と2次災害の防止が最優先……**社員と社員の家族の生命を守る**
- ・バイタルBCPは組織ごとの固有システム……オーダメイド

### <事業継続計画>

- ・対象範囲:パート・アルバイト・契約社員・請負常駐者まで
- ・バイタル人材とミニマムオペレーション、責任・承認体制の確立  
(業務分析・分類、バイタル人材に必要な力量、担当者マッチング、合意・育成)
- ・安否確認システムとの連携

### <実施にあたっての問題点>以下略

ご清聴ありがとうございました。

- ・バイタルBCPの意義・問題意識をお話しました。
- ・情報セキュリティ合同研究会メンバー募集  
(皆さまの参画をお待ちしております)

### 情報セキュリティ合同研究会

＜2020年度 研究会 参加メンバー（敬称略）＞	
川辺 良和	【(有)インターギデオン代表】：主査、発表者
芳仲 宏	【システム監査技術者・ITCインストラクター】
成田 和弘	【システム監査技術者・CIA・CISA】
戸室佳代子	【公認システム監査人、SAAJ理事】
荒木 哲郎	【弁護士・システム監査技術者】